

# 令和7年度 自己評価及び学校運営協議会委員評価書

令和8年3月31日

札幌市立北光小学校

## 1 本年度の経営理念

【「居場所感と夢を生み出す学校」を創る教育活動の推進～「自立」と「共生」の資質を育むために～】

## 2 理念の具体化に向けての方針

・豊かな心の育成      ・健やかな体の育成      ・学ぶ力の育成

## 3 自己評価結果に対する学校運営協議会委員評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
豊かな心の育成	自分にはよいところがあると感じている。	A	自己のよさにさらに気付けるよう、振り返りの機会をより充実させていく。	A	A
	人のよいところを見付けようとしている。	A	友達のよいところに気づき、伝えることの価値を今後も伝えていく。	A	A
	自分が必要とされていると感じている。	B	学級・学校での役割を明確にし、必要とされていると感じる機会をより作る。	B	A
	学校で安心して過ごすことができている。	A	困ったときに支援を求められるような環境、支援できる環境を維持する。	A	A
	自分から進んで挨拶をしている。	B	挨拶の意義を共有し、教職員が子どもの手本となり、率先して挨拶する。	A	A
	子どもは読書が好きである。	B	おすすめの本紹介、読み聞かせなどを通して読書の楽しさを広げる。	B	A
	子どもははじめは絶対に許さないという気持ちをもっている。	A	いじめを芽の段階で摘むために、日常の学級指導をこれからも継続する。	A	A
学校運営協議会委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が意欲的で良い状態なのは、日頃の先生の取組があってこそと思います。</li> <li>自分が必要とされていることを感じ取れないのは寂しいことですね。役割の他にも先生やお友達とゆっくりお話していけると少し安心するかも知れません。</li> <li>学級指導は個々の先生の指導によるところが大きいと思うので、学校としての働きの掛けを具体的に示してほしい。</li> </ul>				
健やかな体の育成	体を動かすことが好きである。	A	体を動かす楽しさを感じられる活動を引き続き取り入れる。	A	A
	めあてをもって縄跳び運動に取り組んでいる。	B	目標を意識して取り組めるようにし、成長を感じられるように関わる。	A	A
	健康のために、自分には何が必要かを考えて生活しようとしている。	A	健康への意識を高めるため、授業での関わりや家庭と連携をより意識する。	A	A
学校運営協議会委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年生でもしっかり健康の大切さを理解し考えていると感じています。</li> </ul>				
学ぶ力の育成	学ぶことが好きである。	A	学びへの意欲を高められるように、日々の学びがより充実する環境をつくる。	A	A
	疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている。	A	選択した方法が課題解決にとって効果的だったかを振り返る機会を充実させる。	A	A
	意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。	B	多様な考え方を受け入れ、自分の考えに生かすことのよさを共有していく。	A	A
	自分の意見を進んで発言しようとしている。	A	発言しやすい雰囲気をつくり、発言の価値を繰り返し伝えていく。	A	A
	学習で困っている友達に声をかけたり一緒に考えたりするようにしている。	A	互いに学び合う活動を充実させ、協働して学ぶよさを実感できるようにする。	A	A
	分からないことをそのままにせず、分かるまで努力するようにしている。	A	学びを振り返り学習計画の時間を作るとともに、努力を続ける価値を伝える。	A	A
	各児童の特性や状況を理解し、全職員で連携して適切な支援に取り組んでいる。	A	児童の特性や状況を理解するための研修や児童情報の共有の機会を充実させる。	A	A
学校運営協議会委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見の違う人との話し合いは大人でも難しいものです。考えを聞いてたくさんの思いがあることができて、その積み重ねを続ける指導があってもよいかも思いません。</li> <li>自分の考えを伝えることもうまいと感じます。日頃の取り組みがあつてこそと思います。</li> </ul>				

・その他→話し合いの場で委員も話していましたが、小学校の様子や先生方との共有ある場面が少なくなり、やや残念に思います。